

COVID-19陽性患者もしくは疑い患者に対する手術時の感染対策Case Report集計結果(11月30日から12月6日回答分)

	症例数	手術	
陽性患者	2	人工骨頭挿入術	1
		開腹術	1

COVID-19疑い患者	4	開腹術	1
		帝王切開	1
		脳外科手術	1
		気管切開	1

事前シミュレーション実施	あり	3
	なし	3
	記載なし	0

手術室で気管挿管	4	McGrath	4
(喉頭展開1回で挿管)	(4)	AWS	0
区域麻酔	1		
既挿管	1		

PPE	フェイスシールド	3
	ゴーグル	1
	シールド付きマスク	1
	記載なし	1
	N95	3
	サージカルマスク	3
	手袋2枚	3
	手袋1枚	3

自由記載

陽性	人工骨頭挿入術	術後OP室、病棟で嘔吐した。第6病日、発熱しPCRを実施し陽性が確認された。第7病日、病棟看護師の抗原陽性が確認された。
陽性	開腹術	当院では新規緊急患者にはCTを施行しており、術前に肺炎像を確認していた。初回手術時の抗原検査は陰性であった。挿管のまま個室で数日管理していたが、再手術が必要になりPCRを施行したところ陽性であった。
疑い	開腹術	アイソレーションボックスを使用した。
疑い	帝王切開術	術前ルーチンの唾液PCRの結果未着で、陣痛発来のために祝日に緊急帝王切開となった。病院到着から最短時間で手術室に入室した。入室前に抗原検査の検体を提出した。 当院ルールの低リスク疑似として脊椎麻酔を行い手術を開始した。開始5分後に検査室から抗原検査陽性との連絡が入った。そこから室内の全員がフルPPEに変更した。翌日に術前のPCRは陰性と報告があり、また術後に再度出したPCRも陰性で、結局陰性と判断された。
疑い	気管切開	局所麻酔下の気管切開をMACで行った。気管に切開を入れる時とカニューレを入れるときに激しく咳をした。